

常任委員会・予算特別委員会分科会

※各常任委員会および各分科会に付託された議案ならびに予算の主な審査内容を紹介します。

総

務

◆議案審査

・ふるさと寄附金

今年度のふるさと納税による寄附金について、前年度比2億円増の14億円と見込まれることから、ふるさと納税ポータルサイトの掲載に要する経費や決済手数料、返礼品などの経費を追加する。

多く返礼されているものとしては、ふるさと3種定期便、もも3kg、フルーツ4種定期便となっている。



◆予算審査

・12誘導心電図伝送システムの整備

救急車3台に県内初となる心電図伝送装置を配備し、リアルタイムに心電図を病院と共有し救急患者の救命率向上を目指す。

文

教

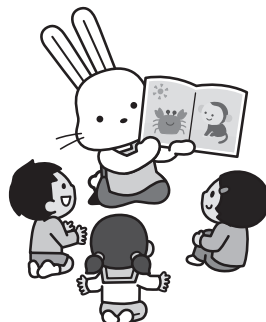
福

社

◆議案審査

・保育士などの処遇改善

コロナ克服・新時代開拓のための経済対策として、国の補助交付金により保育士、幼稚園教諭、放課後児童支援員などの報酬処遇改善を実施する。



◆予算審査

・学校施設リフレッシュ

学校施設の屋上防水や外壁改修工事、屋内運動場の屋根改修を実施する。

また、施設の改築・長寿命化に向けた調査に着手する。

- 校舎屋上防水および外壁改修：清水小、杉妻小
- 屋内運動場屋根改修：笹谷小、清水中、平野中
- 劣化度調査：飯坂小
- 耐力度調査：三河台小

経

済

民

生

◆議案審査

・企業立地促進

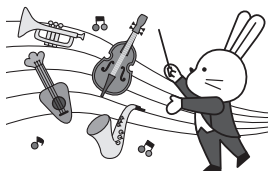
企業立地促進条例に基づく奨励措置として、立地企業に対して用地取得助成金（2社）、雇用奨励助成金（1社）を交付する。

◆予算審査

・古関裕而氏を活かしたまちづくり事業

豪華ゲストを招いた鑑賞型音楽祭や古関氏の誕生日の8月11日に合わせた生誕記念コンサートを開催し、古関氏と音楽を活かしたまちづくりを推進する。

また、古関氏が生まれ育ったまちとして、その名を冠した作曲コンクールを新たに開催し、古関裕而のまち・ふくしまを全国に向けて発信する。



建

設

水

道

◆議案審査

・福島市まちなか広場条例

日常的に集い憩える場を市民に提供し、にぎわいの創出と回遊性の向上を図り、中心市街地の活性化・防災性の向上に資するため、まちなか広場を設置し、広場の貸し出しを行う。使用料は下記のとおり。

区 分	単 位	使用料	※当面の間 1/2減免や 学生などに 対する免除 あり
電気、水道を使用する場合	1時間につき	600円	
電気、水道を使用しない場合		540円	

◆予算審査

・福島駅東口地区市街地再開発事業

福島駅東口において実施する再開発に対し、国・県・市が連携し、商業、ホテル、公益施設などの都市機能の充実、にぎわいの創出、交流人口の拡大などを図り、風格ある県都を目指す。

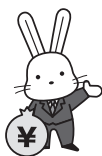
令和4年度は従前資産補償、既存建物解体工事などに対して支援を予定している。

3月定例会議

～令和4年度の予算を審査～

予算特別委員会を開催しました

議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、4つの常任委員会（総務、文教福祉、経済民生、建設水道）と複合市民施設に関する調査特別委員会を単位とする各分科会において、令和4年度の予算を審査しました。



令和4年度の一般会計当初予算額は1159億円、除染関連事業費を除いた実質的な予算額1126億円は7年連続の増加となりました。

3月定例会議

初日に議案を先議

国の経済対策に呼応し、速やかな対応を図るための補正予算を審議、可決しました。

主な内容

- ・道路改良（計8路線）
- ・学校の感染防止対策（新型コロナ関連）
- ・橋りょう長寿命化修繕
- ・通学路安全対策・道路舗装修繕 など



3月定例会議

最終日に地震関連議案を審議

3月16日に発生した令和4年福島県沖地震により被災された方へ早急に支援を行うため、3月定例会議の期間を1日間延長し、補正予算などを審議、可決しました。



主な内容

- ・災害見舞金
- ・災害援護資金貸付金
- ・住宅の応急修理支援
- ・災害等廃棄物処理費
- ・ブロック塀の撤去支援 など

詳しくは市ホームページを
ご覧ください



2月5日(土)

緊急会議を開催しました

2月5日土曜日に、昨年末からの相次ぐ降雪と低温による圧雪・凍結の解消、その後の降雪・低温に備えるため、過去最大の除排雪費用を計上する補正予算案が提出され、審議、可決しました。



令和3年6月定例会議
で取得を審議・可決した
除雪ドーザ